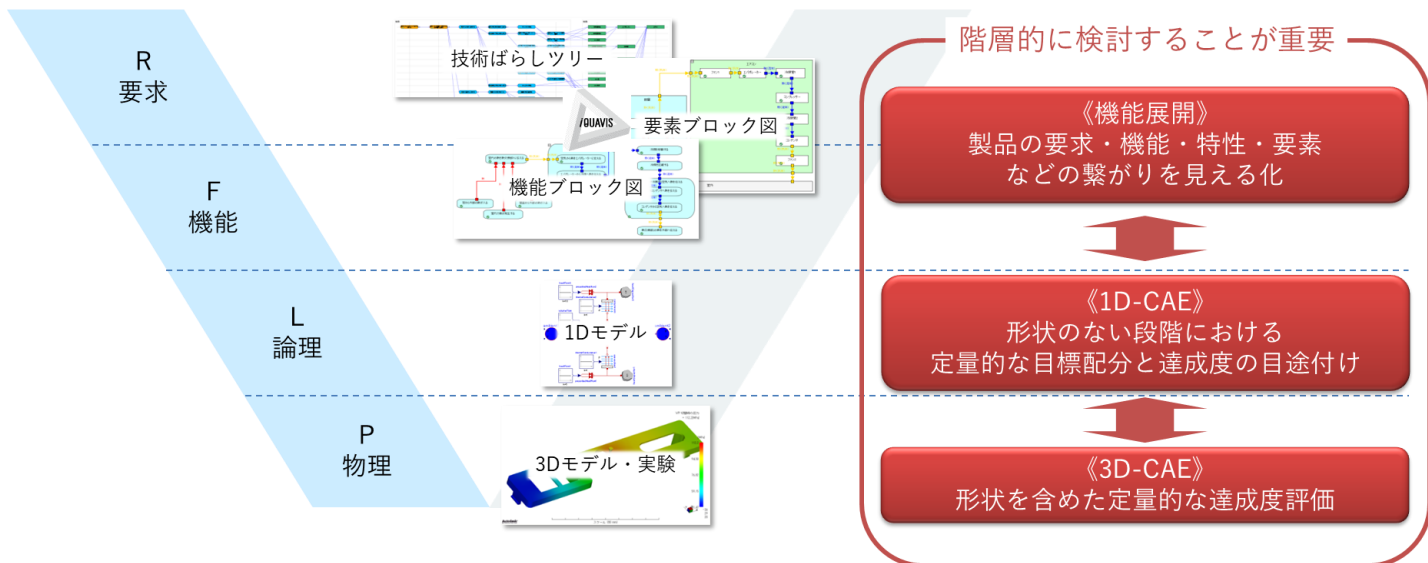


■ 製品開発全体のためのMBDの基礎を学ぶ

- 昨今の製造業の開発における大きな問題の一つとして「試作後の検証段階での大きな手戻り」が挙げられます
- その問題を解決し、開発を革新のための手段として、MBDが広く取り入れられています
- ですが、MBDは単に「モデルを使って開発する」というだけではなく、実践するためのコツがあります
- 本講座では、製品開発にMBDを適用するために必要な考え方を学び、具体的なモデルの作製・活用方法と開発への適用方法を演習します



V字プロセスにおけるMBD適用イメージ

■ MBDを実践するためのコツとは？

- MBDを適用する動機は様々ですが、共通するのは「ますます複雑化する製品開発を試作レスで実施する」ということです
- しかし、シミュレーションモデルで検討すべきパラメータ数は、あっという間に膨大になり「パラメータ爆発」という問題に直面します
- これを解決するのが「階層的に考える」という「システムズエンジニアリング」の考え方です
- これを正しく取り入れたMBDが「成功するMBD」となるのです

■ MBD基礎講座のアジェンダ

- 基礎から学べるアジェンダをご用意しています
- ご要望に応じた講座のカスタマイズも可能です

講座アジェンダ例

講座項目	講座内容	形式
MBD概要説明	MBDの定義やV字プロセスにおける位置づけ、またMBDを進める上で最低限必要となる知識をレクチャーいたします	座学
機能展開 ブロック図 1DCAE 概要説明	技術の仕組みを紐解く上で鍵となる機能展開・ブロック図・1DCAEについて、その定義やメリット、また具体的な活用シーンなどについて、事例を交えながらレクチャーいたします	座学
機能展開 ブロック図作成	ドライバーを題材として、機能ブロック図・機能系統図(ツリー図)を作成し、機能展開を実施していただきます	グループ ワーク
1DCAE概要説明	MBDモデルの妥当性を検証する上で鍵となる1DCAEについて、その定義や3D-CAEとの違い、具体的な活用シーンなどについて、事例を交えながらレクチャーいたします	座学
1DCAEモデル作製	はじめに、1DCAEツールの基本的な操作についてレクチャーいたします 簡単な例題を実施し、操作に慣れていただいた後に、ドライバーを題材とした1DCAEモデルを作製していただきます ※1DCAEモデル作製は、弊社が用意したベースモデルを一部改修する程度の簡易的なワークです ※個人ワークの際は、各グループごとに補助講師がサポートいたします	個人ワーク
1DCAEモデル活用	上記で作製した1DCAEモデルを使って、製品の諸元や構造を検討していただきます	個人 グループ ワーク
アクションプラン策定	本講座で習得していただいた内容を、受講者ご自身の業務で実際に活用するための計画を立てていただきます	個人ワーク
まとめ	本講座での実施内容をまとめ、ポイントをリマインドいたします	座学

本件に関する
お問合せ

株式会社電通総研 人材育成・研修担当
E-mail : g-ex-mhrd@group.dentsusoken.com

 電通総研